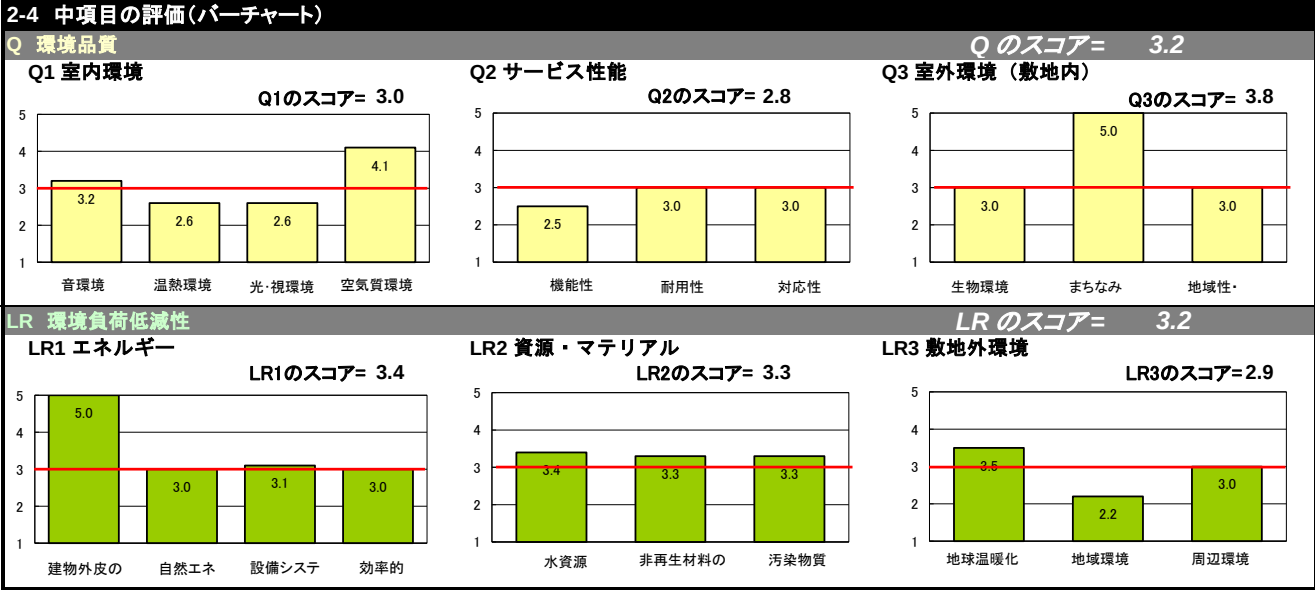
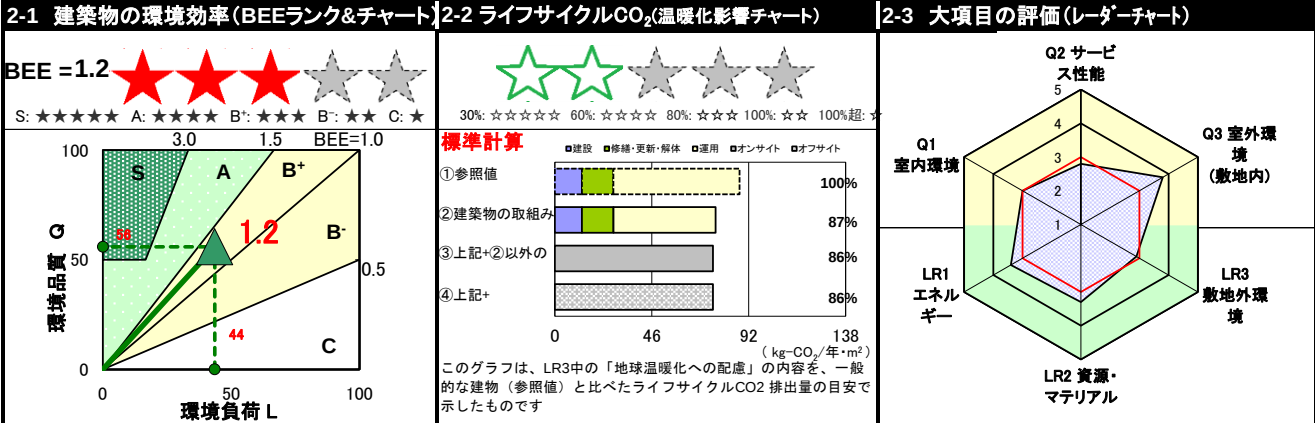


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宝塚大劇場新ビル建設計画	階数	地上6F、地下1F
建設地	兵庫県宝塚市栄町一丁目295他、武庫川町47-1	構造	RC造
用途地域	法22条地域	平均居住人員	489 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,745 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2024年7月30日
敷地面積	1,255 m ²	作成者	株式会社久米設計 竹山 弘人
建築面積	674 m ²	確認日	2024年7月30日
延床面積	4,450 m ²	確認者	株式会社久米設計 木下 卓哉



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・兵庫県宝塚市に建設される複合用途建築物の計画である。 ・断熱性の高い材料・節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・取り入れ外気への配慮があり、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	・耐用年数の長い内装材・配管材料の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。	・敷地内緑化により、緑の量の確保に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。	・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。またOAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。	照明にLEDを使用する等、高効率な設備機器の採用によりCO ₂ の削減を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される